地域を支え、明日を創る
CSR活動報告

現場を見る・知る・学ぶ

高校生の現場見学

一般社団法人福岡県建設協会では、人材育成の一つとして、毎年高校生の現場見学を支援しています。

中間堰本体改築工事

●工期：平成27年10月1日～平成30年3月31日　●施工場所：福岡県中間市下大隈地先
●発注者：国土交通省　九州地方整備局　●施工業者：清水建設株式会社

福岡県立八幡工業高等学校　土木科　1年生　39名　1/28(木)

中間堰の改築工事は平成23年1月より着手しており堰の改築と河道拡幅をおこなっているものです。

河川内の工事となるため、鉄の板を使って仮締切という壁をつくり水を遮断するのですが、洪水の流れを妨げないように梅雨や台風期を避けて毎年設置しては撤去を繰り返すため、河川内での工事ができるのは1年のうちの4ヶ月程度しかなく、寒い冬場の作業がメインとなるため苦労が多いという話も聞きました。

それでも、施工会社の若いスタッフから「スケールの大きな夢のある仕事。工事現場はみんなの力を一緒に合わせないと進まない」という声もあり、みんなの目はキラキラと輝いていました。

聞きなれない言葉も多く、現場でしかわからない空気や緊張感を知ることができました。学校では体験できない今日のことを、進路を考える時にも思い出して、将来に活かして行きたいと思います。

土木科1年生
藤田 泰哉さん

自分たちが当たり前に利用している橋や道路でも、洪水などによる身の危険があることがわかり、寒い中でも工事をしている人たちがいるから守られていることに感謝の気持ちを持ちました。

土木科1年生
生島 知志さん

久留米市立日吉小学校現場見学会

●工期：平成27年7月4日～平成28年12月14日（530日間）
●施工場所：久留米市日吉町77-1　●発注者：久留米市
●施工業者：半田・梅原・聖光　特定建設工事共同企業体

福岡県立浮羽工業高等学校　建築科　2年生　32名　2/19(金)

1フロアー900㎡のコンクリートを使用し、1回300㎡を流し入れる。ミキサー車225台分。

久留米市中心街、六つ門近くにあり校区外からも通学する児童がいる人気校「日吉小学校」。その校舎改築工事の現場見学に浮羽工業高校2年生が訪れました。現在の運動場に4階建を新築するこの現場は敷地が狭い事や、小学校で通常の授業が行われている中での工事という事もあり、安全面、音の面、進入ルート、動線等、事前に学校と協議し決定。多面的に配慮されながら進められていました。見学会の日は2階の躯体工事が行われており、全体の3割、工事が進んだ状況でした。

改築校舎の中央にある大きな吹き抜けのセンターに設置してある大きなクレーンを「どこからどのように入れたと思う？」との工事責任者からの質問に、戸惑いを隠せない生徒たちでした。

工事中の建築物の中は、冬場であるためかとても寒く感じました。現場は鉄筋コンクリート構造の躯体工事の真っ只中。とても勉強になりました。将来、建築関係の仕事に携わって今回の現場で見学したことや説明していただいたことを活かしたいと思いました。

建築科2年
堀江 瑠夏さん

校舎は鉄筋コンクリート構造。コンクリートがまだ打設されていない場所では鉄筋組み、型枠組みされた状況でした。コンクリートの型枠解体後の仕上げ工事前の躯体状況など、普段の授業では写真でしか見たことがないものを間近に見学できました。

建築科2年
稲積 隆太郎さん

Induction Course
学生から企業人へ
平成28年4月5日・6日
9:30～17:00開催
Student ▸ Business people

29社90名が参加！

福岡県建設業協会主催「合同新入社員研修」をレポート

これからプロとして働く新入社員の皆さん。2日間にわたり、身だしなみや言葉遣いなどの「ビジネスマナー」をはじめ、企業人としてのスキルを習得しました。

新入社員の皆さんにお聞きしました。

Q.1 何で建設業関連に就職しようと思ったのか？
Q.2 研修で学んだこと
Q.3 今後、どのようなことにチャレンジしていきたいか？

末次 高喜さん
大和建設株式会社
工務本部工事部
浮羽工業高等学校
建築科卒

Q1.自分自身で手がけた建築物が目に見える形で再現され、地図に載るところに魅力を感じた。 Q2.早く現場に慣れるためにも私自身も仕事を通じて成長していきたい。 Q3.1、2、3年目は現場で必要な資格、4年目は建築施工管理技士などの資格に挑戦したい。

中島 智子さん
九州建設㈱
工務本部工事部
長崎大学工学部
構造工学科卒

Q1.学生時代、論文制作を進めていく中で、自分も現場のチームに入りたいと思うように。 Q2.マナーは相手が判断することなので自己満足になってはいけないということ。 Q3.最近は女性の先輩方もバリバリ活躍していらっしゃいます。私も現場に出て、福岡や九州の経済に大きく貢献できる構造物の設計、施工に携わりたい。

山内 朗裕さん
上村建設株式会社
工事部
西日本工業大学
デザイン学部卒

Q1.建設業界に憧れていた。知識も技術も何もかも必要とされると思い、自分のすべてで仕事ができると思った。 Q2.言われたことをすぐにメモする、そしてすぐに動くこと。 Q3.上司や先輩に言われたことをこなし、早く判断ができるようになり、最終的には自慢できるようなビルドをしたいです。

講師
酒井 誠一氏
株式会社
日本コンサルタント
グループ
経営コンサルタント

社会人として自立するには、自律の精神が求められます。どの人の心の中にも、「弱い自分」と「強い自分」が存在します。これからは社会人として、生活の基軸にポジティブな「強い自分」を置くように努めましょう。皆さんのこれからのご活躍を心よりお祈り申し上げます。